

認知症チーム活動報告

医療法人 誠和会 介護老人保健施設 福寿荘リハビリテーション部¹

医療法人 誠和会 倉敷記念病院リハビリテーション部²

医療法人 誠和会 倉敷記念訪問看護ステーション³

医療法人 誠和会 通所リハビリせいわ⁴

医療法人 誠和会 倉敷記念病院リハビリテーション科⁵

○森本^{もりもと} 沙織^{さおり}¹, 石井 未来¹, 松井 香¹, 田村昌樹¹, 高取 佑里¹, 川元 奈津美¹,
唐川 佳明², 糸山 克哉², 奥井 真由美², 金井 敦史², 佐田健太², 伊達 咲乃²,
石田 真也³, 坂本祐貴⁴

【はじめに】

認知症チームはチームのメンバー主体で勉強会, 症例検討会をオープン参加型で開催し, 認知症への知識を深め日々の関わりや治療効果に繋げていくことを目標として活動を継続している. 今年度は Behavioral and Psychological Symptom Dementia(以下 BPSD)の特徴的な症状に着目した. 以下に活動内容の報告および今後の展望について報告する.

【活動報告】

1. 活動メンバー 14名(PT3名, OT7名, ST3名, MT1名 2024年1月現在)

2. 活動内容

- i) 認知症チームのメンバー主体で開催する勉強会(オープン型参加)
- ii) 症例検討会

3. 勉強会のテーマ及び参加者の人数

- ・4月: 認知症患者における看取り期までの経過 13名
- ・6月: 帰宅願望や徘徊について 16名
- ・7月: 入浴拒否、ケアの拒否について 11名
- ・9月: 症例検討会～病院における認知症患者の摂食について 13名
- ・10月: 代替療法について 10名
- ・11月: 物盗られ妄想について 9名
- ・12月: 症例検討会～訪問リハビリを通して 10名

今年度も全 7 回の勉強会及び症例検討会をオープン参加型で開催した。リハビリテーション部内の参加率は 7 回の勉強会を通じて部署内 64 名中平均 11.7 名で全体の 18.3%。職種別の参加割合は PT22%、OT65%、ST40%。全体の参加率は 38%で、前年度 28.1%から約 10%上昇。チームメンバー以外の参加者が増えたことが影響した。

【今後の展望】

認知症を有する方が「その人らしい生活」を送る中で一つの大きなポイントとなるのは BPSD との上手な付き合い方であることから、今年度はその主な症状を一つずつ取り上げ、セラピストとして効果的な治療を進める上で必要な関わり方を学び、症例検討会を通して異なる視点からの関わり方を見聞することが出来た。

今後も「その人らしさ」や「認知症の方と他者との結びつき」を大切に、認知症の方から学ばせていただく姿勢を忘れず、賜った智慧や知識、ケアの技術をリハビリテーション部内外へ情報発信していく。そして認知症の方が安心して過ごせる生活を、多くの仲間と共に守り作り上げていきたいと考える。